

# 診断書（発達障がい・精神障がい関係）

\*この診断書は、修学上の合理的配慮を考えるための資料とさせていただきます。  
不都合がある場合は貴院所定の診断書にご記入をお願い致します。

氏名		生年月日	年	月	日	
住所						
診断名						
障がいの状態	【障がい等の状態について、その程度・症状等を具体的に記載してください】					
	【現在の処方薬について記載をお願いします】					
※合理的配慮に関する困難さと必要な配慮について、可能であれば別紙の記載もお願い致します。						
検査結果等	検査名称 ※実施した検査があれば結果の添付をお願いします（概ね3年以内）					
	・		（実施日：	年	月	日）
	・		（実施日：	年	月	日）
・		（実施日：	年	月	日）	
上記の通り診断する。						
所在地・電話番号			年	月	日	
病院名						
診療科名		医師の氏名		印		

\*配慮実施の参考にしたいため、該当項目に記入して頂きますと幸いです。

## 記入例

該当する修学上・生活上の困難さ、および配慮項目（※最優先は◎）に○をつけてください

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
対人場面		対人場面での強い不安や緊張	◎	発表形態の配慮（個別で実施等）
		吃音、場面緘黙		発言を求める際の配慮（事前に指名を予告する等）
	○	対人コミュニケーション	○	グループワーク時の配慮 （人数調整やグループ間の距離を取る等）

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
出席関連		体調不良等による遅刻・欠席	○	必要な配慮
			欠席回の学習内容をレポート等の課題で代替	
			授業内容の提供（授業資料、重要情報の送付等）	
			オンラインでの受講を許可	
			発表・試験・実験の実施日程の調整	
			課題の提出期限を延長	
			座席の確保	
			授業中の支援機器の使用を許可	
		○	途中入退室の許可	

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
対人場面		対人場面での強い不安や緊張	○	必要な配慮
		吃音、場面緘黙		オンラインでの受講を許可
		対人コミュニケーション		発表形態の配慮（個別で実施等）
				発言を求める際の配慮（事前に指名を予告する等）
			○	グループワーク時の配慮 （人数調整やグループ間の距離を取る等）

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
課題 試験		想像力・段取り	○	必要な配慮
		タイムスケジュール管理		課題内容・指示の具体化（スモールステップで進める等）
		抽象的な指示・内容の理解		課題提出期限や試験時間を延長

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
情報の 取得		注意・集中	○	必要な配慮
		書字		授業の録音・録画を許可
		感覚過敏		板書の写真撮影を許可
				授業内容や重要情報の視覚的提示
			○	座席の確保
				途中入退室の許可

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
生活 場面		疲れやすい	○	必要な配慮
		感覚過敏		クールダウンのための休養室の確保（災害時含む）

上記以外に困難さや必要な配慮があれば以下に具体的に記載してください。

分類	修学・生活上の困難	必要な配慮
その他		